
異世界の戦士

ハンブルグステーキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界の戦士

【Nコード】

N9841F

【作者名】

ハンブルグステーキ

【あらすじ】

平凡な高校生岡田賢人は異世界に送られる・・・彼の未来はどうなってしまうのか？結構コメディ臭のする作品です。

第1話

私の名前は岡田賢人おかだけんと公立の中堅ランクの高校に通う一般的な高校生を自負している者だ。

しかし、周りには「無愛想」「変人」等と想われているらしい。それは何故か？

あえて言うならば面倒だから口数を少なくしている事とクラシック（一部のみ）や歴史、それにアニメを好むという点が挙げられるだろう。

アニメでは特に「機動戦士ガンダム」（ファースト）が好きだ。

そんな私が何故こんな事を手帳に綴っているかというと、それは・・・

・・・

此処が紛れもない異世界だから・・・といえる。

第2話

嗚呼、何故このような事になってしまったのだろうか……？

いつもならば母の料理に舌鼓を打っているところのはずなのに……

何故、こんな暗い森の中でFF4の暗黒騎士みたいな人と相對せねばならんだ……？

「貴方は異世界からの来訪者か……？」

やはり此処は異世界か…… そんな事を考えながら返答する。

「ええ、恐らく僕はあなたの言う異世界からの来訪者ってやつだと思えます。」

「そうか……不躰で済まないが……その、あの、私と契約をしてもらえない、か？」

そう言うとその暗黒騎士（仮称）はモジモジしながらそんな感じのことを言った。この人は女性だろうか？

「契約というものの説明をお願いします。」

「契約とは自分の召還した物、人、獣に自分のパートナーになってもらう事です。」

「ほう……この世界にはそんな物が在るのか……」

「はい。ところで、契約は・・・していただけるのでしょうか？」

「ええ。ものは試しですから。」

「では、私の属性である『闇』から創り出した箆手と胸当てをどうぞ。」

彼女は箆手と胸当てを差し出してきた。賢人はアイテ

ムを手に入れた！！

「良い物ですね。力が湧いてくるようです。」

「立ち話もあれなので私の住んでいる寮までご案内します。相部屋になりますけど大丈夫ですよね？」

「いいですとも！！！」

「では、行きましょうか。」

（あ、華麗にスルーされた・・・）

こうして異世界に来て初の出会いを済ませた岡田賢人だった・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9841f/>

異世界の戦士

2010年10月25日03時59分発行